

今月のテーマ

わがまちみらい情報交換会



田上市長の「恋とツツ」

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

10月11日、12日の2日間、消防局の講堂で「わがまちみらい情報交換会」が開かれました。参加したのは約170人。いろいろな地域活動をしている皆さんです。

親睦のためのスポーツ大会を計画したり、生ごみ堆肥での野菜づくりを通して地域の交流を図ったり、高齢者や障害者などを災害のときに誰がどうやって支えるかを話し合ったり、電球の取替えや草取りなどの手伝いをする「お助け隊」をつくったり……それぞれの地域で活躍されている方々が2日間で12の活動を発表してくれました。

共通点は、どれも、住民の、住民による、住民のための活動だということ。自分たちのまちは自分たちで良くしようという自然な思いが、どの活動からも感じられました。

他にも気づいたことがあります。

●小学校区や連合自治会などのエリアで活動している団体が集まってつながる「緩やかなネットワークづくり」が少しずつ始まっている。

●みんな顔と顔を合わせる場が大事。それがないと、まずまずそれを作ろうとしている。地域活動がうまく進めるためには、いろいろな「ツツ」がある。そして「ツツ」の中には、地域が違っても共通に役に立つものがたくさんある。共有するとみんなが助かる。

●まずはやってみる。お互いに実践しながら学び合うことがとても大事。

発表の後には質問コーナーもあり、「活動資金はどれくらいかかりますか?」「その資金はどうやって集めますか?」「人は



どうやって集めますか?」を筆頭に、たくさん質問と具体的な答えが交わされました。

\* \* \*

地域には、連合自治会、自治会、民生委員、PTAや青少年育成協議会、子どもを守るネットワークなどの活動からNPOのような活動まで、さまざまな活動があります。また、学校、郵便局、病院、包括支援センター、企業や商店のようなど、地域にとって身近で頼りになる存在もあります。

そういう人たちが、普段はそれぞれに活動しながら、必要に応じて協力し合える関係を作ることからつくっていくことは、地域を暮らしやすくする大きな力になります。住んでいる人たちが「私も地域のメンバーの一人」という自覚を持っていることも大切です。

目標は、無理をせず、できることを少しずつ出しかつ地域づくり。そのために一緒に集まる場づくりにも、いろいろな工夫がなされていきました。「わがまちみらい情報交換会」は、地域の新しい息吹を感じさせてくれました。次回はどんな活動が紹介されるのでしょうか。今から楽しみです。



ウォーキングコースを辿れば、池・海・樹林などの変化に富んだ景色が楽しめるほか、さまざまな野鳥も観察することが出来る。運動しながらリフレッシュしたい人にはおすすめです。また、キャンプ場も整備されており、届出をすれば、年中無料で利用できる。家族や友人とバーベキューやキャンプを楽しんでみるのもよいだろう。

秋から冬へと季節が移ろう11月。自然を求めて出かけてみてはいかが。

ながさき  
フチ旅行

癒しスポット  
川原大池公園

長崎駅から三和方面へバスで50分。川原公園前バス停で下車し、5分ほど歩くと川原大池公園が見えてくる。

自然あふれる公園には、コイやフナなどの淡水魚が生息する池や、九州西部北限のハマナツメなどの樹林が広がる。

池の中央に集まる渡り鳥の姿を楽しめる

キャンプ場 (テント要持参)

炊事棟

川原大池樹林

ハートストーンを発見したら恋が成就?!

出かけて見る・知るまちのオススメスポット